

ニッケ印南工場の見学に行ってきました

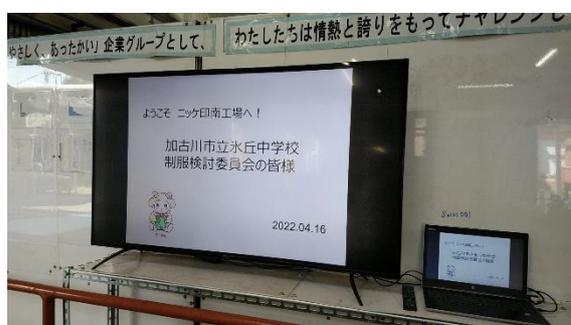
4月16日(土) 9時～

制服検討委員会として、ニッケの「ものづくり」を見学し、制服に使われる生地がどのように作られているかを見せていただきました。

糸から生地になり、染色や仕上げを経て製品になるまでの工程を、説明を受けながら工場内を巡りました。

歴史のある建物の中には最新鋭の機械があり、きれいに整った環境の中で、心をこめて丁寧に「ものづくり」をされている様子がわかりました。感銘を受けるとともに、着衣や制服に愛着がもてた有意義な時間でした。

何と、日本の学生服の約6割に**加古川製**の生地が使われているそうです。



←見学した建物ごとに、このようなディスプレイがあり、丁寧に対応してくださいました。



↑工場内は写真撮影はできませんので、見学の前後に詳しく説明をしていただいた時の様子です。

ニッケ印南工場は、1919年操業開始。100年以上の歴史のある貴重な建物です。中には最新鋭の機械も→

